

## 「いきいき健康日本一のまち」

### 体制

○連携 ~医療・福祉・保健・介護で情報共有している。~  
これを実現させるため...

- ・1患者, 1地域, 1カルテを確立させる。⇒個人情報同意の方法を確立する。
- ・地域の包括ケアシステムを発展させる。  
(医・福・保の連携, ワンストップ相談窓口)
- ・行政, 大学病院, 医療機関のネットワークを確立する。  
(例:あじさいネットワーク)
- ・(仮称)高齢者手帳によって, 医, 介, 薬, 家族の情報を共有する。  
⇒何を伝えるのか明らかにする。(ミニマムセッティングの決定)
- ・医, 介のカンファレンスを開催する。

○現在の充実した医療体制を堅持していく。

### 高齢者・障害者

○高齢者の地域社会での役割  
~知識や活力を地域社会で活かす場がある。~  
これを実現させるため...

- ★高齢者の活躍の場をつくる。⇒例えば老人クラブに入るなど, 集まる場所をつくる。老人クラブの目的を示すことで, 支え合いという考え方を理解してもらう。
- ・高齢者の交流をすすめる。(地域・学校など)
- ・趣味などのカテゴリーで新しいつながりをつくる。

○バリアフリー  
~障害者・高齢者等の視点による社会資本整備ができています。~  
これを実現させるため...

- ★高齢者, 障害者の移動のため, 整備が必要な個所のリストアップを行う。
- ・障害者に対してやさしいまちとして情報発信を行う。
- ・市民バス(地域内交通)の充実

## 「地域の温かみと安心感のあるまち」

★:たくさんの実現策のなかで,  
私たちができること  
赤字:特に優先的に取り組む  
べきもの

## 「共に認め合い絆で支え合うまち」

### つながり・地域

○福祉行政を補完するネットワーク  
~地域でのつながり, 自助・共助の総合的推進~  
これを実現させるため...

- ・向こう三軒両隣を復活させる⇒個人情報同意の方法を確立する。
- ・テーマ性のあるコミュニケーションの場をつくる。

○ボランティア ~参加促進と活躍の場の確保~  
これを実現させるため...

- ・ボランティアに積極的に参加する。
- ・ボランティア登録制度を制定する。⇒男性の参加を促す。
- ・地域コーディネーター制度を作り, ボランティアと利用者のマッチングをする。

○認知症 ~関心をより高める~  
これを実現させるため...

- ・認知症サポーター養成を発展させる。
- ・地域の見守りを充実する。

## 「健康寿命の延伸をめざすまち」

### ★ 予防

○健康づくりのための動機づけ ~自分の健康は自分で守る。~  
これを実現させるため...

- ・健康診断を積極的に受診する。
- ・子どものころから健康の大切さを伝え, 予防の動機づけをする。
- ・健康診断の受診を促すため, 受診率以外の事業効果を測定し, 公表する。  
⇒啓発の対象者をはっきりさせる。
- ・生活習慣病の予防を推進する。  
⇒子ども, 妊婦, 若い親の食育を図る。  
積極的に適度な運動をする。  
運動施設の充実を図るとともに運動プログラムの広報をする。  
煙草対策(禁煙・教育・マナーなど)を推進する。
- ・自殺やストレス対策を推進する。
- ・患者や家族が主体的に病気と向き合うため病気に関する知識を高める。  
⇒患者図書館を設置する。

### 子育て(医療・福祉面から)

○医療費の助成 ~安心して子育てができる。~  
これを実現させるため...

- ・子どもの医療費の助成(0歳~中学卒業まで)を維持する。
- ・子育てしやすい街ということをWEBで強力な情報発信をする。  
(見せ方の工夫や検索性の向上)

○人的助成 ~要介護者, 子どもがいても仕事ができる。~  
これを実現させるため...

- ・子どもが病気の時や介護で休める仕組みをつくる。
- ・人的な手助けができるような仕組みをつくる。

## 「安心して子育てができるまち」